

水産大学の歴史

昭和16年4月
釜山高等水産学校設立

昭和21年5月
水産講習所下関分所開設

昭和22年4月
第二水産講習所に改称

昭和27年4月
水産講習所に改称

昭和38年4月
水産大学校と改称

平成13年4月
独立行政法人水産大学校となる



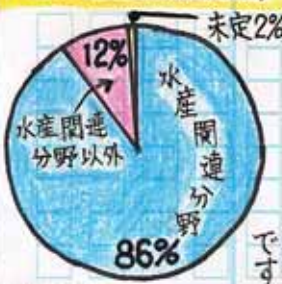
講義棟

平成29年4月1日現在

★学生数 858名

内167名が女子

★講義棟の他に
実験棟・多目的学
生教育棟・図書館
共同研究棟などが
21万㎡という広い
敷地に建っています。
(水産大学 学校案内より)



水産関連分野とは

水産関係の公務員・水産食品メーカー・造船・水産物の食品開発・船長・機関長・海や川などの環境の研究者などの事です。これまでに何と1万人以上の人材を水産業界に送り出していて、業界に幅広いネットワークがあります。すごい!!

発祥は 何と韓国の釜山!!

下関を 拠点にして 75年

水産大学って知っちょる?

私の住む下関市には水産大学校があります。でも名前の通り水産業に関する大学だろうという事以外、何も知りませんでした。そこで、どんな大学なのか詳しく調べてみたいと思い、取材させていただきました。特に大学でどんな勉強や研究をしているか、学生さんは卒業してどんな仕事をされているのかという事と、二ユースで見た練習船の事をもっと詳しく知りたいし、できればその船にも乗って船の中を見てみたいという二つのテーマを中心に新聞を作ってみようと思いました。みなさんに水産大学をもっと知ってもらえたらうれしいです。

大学を調べたい、練習船に乗ってみたい。

水産大学新聞

生野小学校
6年
杉元 愛里

水産業を担う人材の宝庫!!

卒業後は左の円グラフの通り大学院への進学以外では水産関連分野への就職率が圧倒的に多くてその分野の第一線で活やくされている方がほとんどだそうです。



5つの学科で水産業をカバー

- 1 水産流通経営学科**
水産物が食卓に届くまでの流れとそれに関わる経営などについての教育
- 2 海洋生産管理学科**
船の運航や魚などを効率良くするための教育
- 3 海洋機械工学科**
船のエンジンや魚の輸送技術の開発についての教育
- 4 食品科学科**
健康によい水産物のはたらきや加工・水産食品の安全性などについての教育
- 5 生物生産学科**
生態系を考え、水産資源を増やす教育

このように船の事、魚などの資源を効率よくとる事、資源を増やす事、そしてそれを運ぶ事など海から食卓までの水産に関する幅広い分野を学ぶ事ができるようになっていました。

耕洋丸に乗ったよ

水産大学の練習船は、大学の沿岸ではなく下関の別の港に停泊していたので取材の後日乗船する事ができました。練習船は二そうあり、今回は耕洋丸に乗りました。もう一そうは天鷹丸ですが航海中でした。残念!! 船の中の第一印象はとにかくきれいで、そうじをて、底しているようです。たくさん機械や装置があり操作するのが大変そう、しかも航海日誌は全て英語で書かれていて、英語の勉強も必要だと感じました。

もうすぐ4代目に会える!?

取材中、新船が竣工予定という話しかありません。新聞が完成する頃に船も完成するなんてびっくりしました。船の名前は天鷹丸。同じ名前?と思ったら今の天鷹丸は三代目で新船は四代目です。省エネ機関設備や最新の観測機器を持つ船で進水式は三月に終わりまりました。十月末に竣工予定なので私も絶対見に行っ、て、できれば乗ってみたいです。



天鷹丸
10月末竣工予定

耕洋丸の操縦室
何だか自分が船を操縦している気分を味わう事ができました。最高!!

これが耕洋丸全長87.59m
総トン数2.352トン
いろんな漁業機器や探査装置を搭せしているよ!

(水産大学資料より)

海賊がらんで
練習船での航海中には危険海域があり海賊が出没する事もあります。もちろんこちらには武器がないので対策は放水ともう一つ、何と銃のダメージを持たせた人形をデッキに置く事で効果があるようです。放水で実際に追い払った事もあります。



天鷹丸は地球25周半!

三代目までの天鷹丸の航路は東南アジアからアメリカ・ヨーロッパ・アフリカなど航路は世界を一周しています。また航海距りは地球を25周半もしているんだって。ちなみに、乗船した耕洋丸もすでに地球を約9周も航海しています。年に一度の遠洋航海の日間の日程で行われたそうで、去年は日本↓パラオ↓オーストラリアのフリーマントルまでの航海でした。私も行ってみたいです。



航跡図



左から 酒井校長先生・下川先生・水谷先生・津田先生 ありがとうございます。

編集後記

取材では先生方が親切に丁寧に大学の事を教えて下さいました。水産大学が近くにある遠い存在から、近くて親しみのある大学に変わりました。後日、大学祭があるの聞き、さっそく参加し楽しんで来ました。

(水産大学資料より)